

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	D-LIFE LOGI 鳥栖	階数	地上3F
建設地	佐賀県鳥栖市姫方町字池ノ上642	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2025年1月6日
敷地面積	28,684 m <sup>2</sup>	作成者	創元設計
建築面積	16,113 m <sup>2</sup>	確認日	2025年1月7日
延床面積	45,553 m <sup>2</sup>	確認者	創元設計

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.2</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆</p> <p><b>標準計算</b></p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p><b>Q のスコア = 2.6</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 0.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 3.8</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 1.8</p>

LR 環境負荷低減性		
<p><b>LR のスコア = 3.6</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 4.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 3.3</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>倉庫の機能性を保ち、省エネルギー性能に配慮している。</li> <li>LCCO<sub>2</sub>排出率の低減に努めて地球環境保護に配慮している。</li> <li>周辺環境への視覚的圧迫を軽減し、周辺道路の渋滞緩和に配慮している。</li> </ul>		<p><b>その他</b></p> <p>特になし</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>・評価対象外</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。</li> <li>高い階高の確保、積載荷重の割増により、対応性に配慮している。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内に夜間照明を設置して防犯性に配慮している。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー照明等の高効率設備機器を積極的に採用し、省エネルギー性能に配慮している。</li> <li>BEIm=0.42で一次エネルギー消費量を抑えている。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>節水器具を採用し、水資源保護に配慮している。</li> <li>躯体と仕上材が容易に分別可能な構造とし、部材の再利用可能性向上に配慮している。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>LCCO<sub>2</sub>排出率78%</li> <li>燃焼機器を設置せず大気汚染防止に配慮している。</li> <li>適切な量の駐車スペース・施設の確保、周辺道路の渋滞緩和に配慮している。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される